



おおやまもりひさ
大山盛久議員

**現在の有害鳥獣
駆除対策は**

議員 陸地部及び鳥しよ部においてのイノシシの生息地域の調査や駆除など、現在ほどのように進めているか、また、猟友会との連携はできているのかをたずねる。

産業部長 昨年度までは、被害通報があつて早い段階で市職員もしくは猟友会駆除班で現地確認をして、罠を設置するなどの対応をしてきた。今年度からは、さらに充実するために、被害通報により即座に現場対応を可能とする捕獲員と捕獲補助員を設置し、捕獲活動や現地調査なども進めている。また、その他に集落ぐるみによる捕獲活動も引き続き推進している。鳥しよ部については、本市の有害鳥獣対策員と地域の連携で捕獲活動を進めるようになり、捕獲頭数が増えてきている。



耕作放棄地の問題は

議員 前年度と比べて現在の耕作放棄地は増えているのか、荒廃農地の発生防止と解消、市としてはこの問題をどのように解決していくのかをたずねる。

産業部長 農地として再生困難となる荒廃農地化を防ぐためにも、まずは耕作放棄地の状況を把握する必要があります。そのため、農業委員や職員による農地の利用状況調査や農地パトロールを行っている。これにより判明した耕作放棄地の所有者に対して利用意向調査を行い、今後農地をどのようにするかをたずねている。耕作放棄地を少しでも早く発見することにより、所有者の方への適正な管理依頼や地域の担い手への集約といった荒廃農地化防止の基本対策をより効果的に行えるものと考えている。

**笠岡市特別職報酬等
審議会についてたずねる**



まなべ ようこ
真鍋陽子議員

議員 特別職報酬等審議会とは何か。また、その審査基準は何か。

市長 市長の諮問に応じて議員報酬の額、市長・副市長及び教育長の給料の額を審議し、結果を市長に答申する機関である。基準は、県内各市・全国同規模都市の動向及び本市の財政状況、社会経済情勢等を総合的に判断している。

議員 笠岡市議会基本条例第26条第2項によると、市政の現状と課題、将来の予測及び展望を考慮しなければならぬとある。新型コロナウイルス関連の影響により社会全体の経済状況が大変厳しい今は、議員報酬見直しの時期では、

市長 市議のおっしゃることも一理あるかなと思う。

**新教育委員会制度における
市長の政治的な中立性の確保は**



議員 笠岡が子育て世代に選ばれる自治体となるために、しっかりとした保育・学校教育環境が必要。学校教育行政は極めて専門性の高い領域であり、政治的中立性の確保が大切になるが、市長の見解は。

市長 教育3改革を初め、あらゆる教育施設において教育委員会が教育大綱に基づいて、教育長のもと主体的に専門的な見地から進めていくのを私はしっかりと支える立場と認識している。教育委員会が執行する教育施策について、施設・予算等のハード面をしっかりと支え、共に取り組んでまいりたい。

※他に「市長・市議会議員選挙の低投票率」、「GIGAスクール構想」、「個別最適化された学び」について等の質問をしました。